



令和7年度 石垣市立宮良小学校 グランドデザイン

校訓「まごころ」

「学校教育目標」

たくましく かしく 思いやりのある 宮良の子

めざす学校像

- 児童が通いたくなる学校
- 保護者が通わせたい学校
- 教職員が勤めたい学校
- 地域が応援したい学校

重点目標(めざす児童像)

- 健康で、夢を描ける子
- 自分の考えをもち、課題解決に挑戦する子
- 人や地域を大切にし、協働する子

合い言葉
知恵だせ 汗だせ 力だせ
豊かな心で創りだせ



宮良小が育成を目指す3つの資質能力

- 学んだ知識・技能と経験を結びつけ、社会生活で活用する力
- 主体的に自分の考えや気持ちを表現し、協働的に学ぶ力
- 自他を大切にし、失敗を恐れず挑戦する力

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①自分のよいところを見つけ、伸ばそうとする。
- ②多様な考えを認め、自分の考えを持ち、主体的に判断し、課題解決に取り組むことができる。
- ③他者と関わり、学習したことや体験したことを生かして考え、協働することができる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①自分の活動を振り返り、改善につなげている。
- ②多様な考えを参考に自分の考えを持ち、主体的に判断することで、課題解決の方法を見出している。
- ③他者と関わり、学習したことや体験したことを自分のものにし、自信につなげている。

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 多面的で確かな児童理解と居場所づくり(個に応じたきめ細やかな対応)
- チーム対応・チーム支援(職員間の情報共有・共通実践及び関係機関との連携)
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(ICT機器の効果的活用)

何を学ぶか

○教育課程の編成(教科横断的な視点で)

- ①「主体的・対話的で深い学び」に向かう学習活動
- ②各教科の特質に応じた見方や考え方
- ③「学び方」を学ぶ(学びの自立化)

どのように学ぶか

○教育課程の実態(子供の学びの姿)

- ①課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む。
- ②自分で学び方を考え、工夫する。
- ③わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげる。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修・校内研究体制の充実 □隣学年部会の充実 □スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携
- 特別支援学校との交流学习 □保・幼・こ・小・中の円滑な接続 □地域・保護者との情報共有及び連携、協働 □学校施設の整備

安心・安全を守る

- 教育活動全体における万全の防災・安全対策
- 「自分の命は自分で守る」子供の育成(防災・安全・健康教育)
- 安心・安全な居場所となる学級(教室)・学校
- 地域・保護者・関係機関と連携した安全指導(見守り・安全指導)
- 校地の環境整備

地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会(CS)における熟議・協議・マネジメント
- 地域教育資源を生かした学校教育の推進
- 学校評価の実施と結果公表
- 積極的な情報発信(学校だより、学年・学級だより、ホームページ等)